

対象安定器	<ul style="list-style-type: none"> ● FMB-361007 (FPL36・FML36×1灯用、100V電源専用) ● FMB-362007 (FPL36・FML36×1灯用、200V電源専用) ● FMB-2-361007 (FPL36・FML36×2灯用、100V電源専用) ● FMB-2-362007 (FPL36・FML36×2灯用、200V電源専用)
--------------	--

このたびは東芝蛍光灯電子安定器（インバータS）をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めの安定器を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

お客様へ







- ・この安定器の取り付け工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- ・一般の方の工事は法で禁じられています。

工事店様へ

- ・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上の注意

本項目は、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

<p>警告 この項目を無視して、誤った取り扱いをすると、“使用者が死亡又は重傷を負う可能性のあること”を示します。</p>		
<p>管灯回路内に中間ジョイントとしてコンセント等の接続器を使用しないでください。高周波電圧や、高電圧パルスによる絶縁破壊により火災の原因となります。</p>	<p>安定器の構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。故障の原因となるばかりでなく、感電、発煙、発火等危険が生じる原因となります。</p>	<p>電線を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように確実に接続してください。なお、速結端子を有する安定器の接続をする場合、次のことを守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 電線は、指定の電線を使用してください。 (2) 電線の被覆は、指定された剥き代に合わせて剥いてください。 (3) 電線を1本づつ奥まで確実に差し込んでください。
		
<p>電線、あるいは絶縁処理部に刃物等による傷を付けないようにしてください。傷が付いた状態で使用されますと、絶縁破壊により漏電、感電、火災等の原因となります。</p>	<p>振動や衝撃のある場所で使用する場合は、金属疲労やネジの緩みによる落下を防止する対策を施してください。対策を施さないと使用すると、落下による怪我の原因となります。</p>	<p>安定器の二次側には、高電圧を発生しているものがありますので、活線作業をしないでください。活線作業をしますと感電等の原因となります。</p>
		

<p>注意 この項目を無視して、誤った取扱いをすると、“使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生の可能性があること”を示します。</p>		
<p>放電灯器具に組み込んで使用するものです。器具外では使用できません。間違えて使用しますと絶縁低下、漏電、感電、短寿命等の原因となることがあります。</p>	<p>安定器には接地工事が必要です。入力又は出力電圧が、150Vを超え300V以下の場合には第三種接地工事を「電気設備技術基準」に準じて施工してください。接地工事をしないと感電の原因となることがあります。</p>	<p>安定器は必ず適合するランプと組合わせてご使用ください。同じワット数のランプでも、種類が異なると始動しなかったりランプの破損や短寿命、あるいは過電流による安定器の短寿命の原因になることがあります。</p>

■ご使用上の注意

<p>安定器は、設置場所の電源電圧・周波数を確認してから、お取り付けください。</p>	<p>電源電圧の許容変動範囲は、安定器の仕様書で示しました変動範囲内でご使用ください。電源電圧が高すぎますと、ランプ・安定器の寿命が短くなります。また、低すぎますと、ランプのチラツキ、不点灯あるいは立ち消えの不良を招きます。ランプの性能を活かすために、定格電圧でご使用ください。</p>	<p>周囲温度が低い場合、電子回路式安定器、及びパルス始動式安定器等電子回路を用いた安定器では、正常動作しない場合がありますのでご注意ください。</p>
<p>安定器周囲温度は、5℃～40℃の範囲でご使用ください。周囲温度が高い場合や、他の熱源から影響を受ける場合などには、安定器が短寿命となったり、内蔵している保護装置が動作したりしますので、安定器の周囲温度は40℃以下でご使用ください。また周囲温度が40℃以下でも、同様に安定器短寿命の恐れがありますので、次の事項を守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 安定器を2台以上並べて設置する場合には、相互の熱の影響を受けますので10cm以上間隔をあけて通風に注意してください。 (2) 安定器を箱の中に収納する場合には、容積を十分大きくとり、かつ換気をして安定器が過熱しないよう注意してください。 (3) 安定器を光源の上部等に取り付ける場合には、光源の熱の影響を受けますので、熱遮断の仕切をするのと共に、十分な間隔をとってください。 (4) 狭く、周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、強制換気などをおこなって安定器が過熱しないようご注意ください。 		

うら面もお読みください

■取り付けのまえに

この蛍光灯電子安定器（インバータS）は当社照明器具の補修用部品です。
適合器具以外の照明器具では、ご利用できません。（適合器具は、ご使用の照明器具形名をあらかじめご確認いただいたうえで、当社施設・店舗照明カタログをご覧ください。）

〔器具形名の一例〕

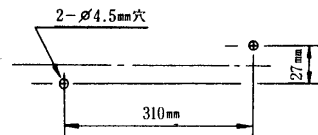
FR-34731 PS1(またはPS2)

器具形名

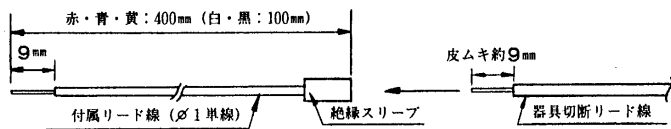
インバータSを示します。

■安定器の取り付けかた

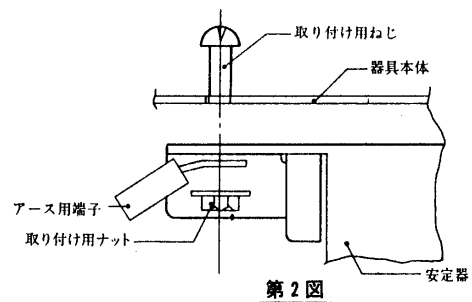
1. 現在取り付けられている安定器をはずし**第1図**のように器具本体に取り付け用穴を開けてください。
2. ねじ（M4×10）とナットを用い、**第2図**のように確実に取り付けてください。器具本体にアース端子が付いていない場合は、アース用端子を用い、安定器に共締めしてください。
3. 器具側のリード線を**第3図**のように端末を処理して、付属のリード線を圧着接続してください。



第1図

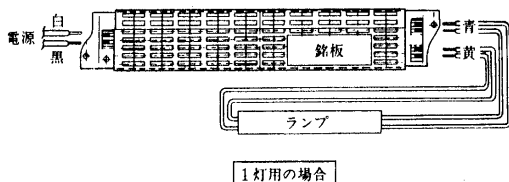


第3図

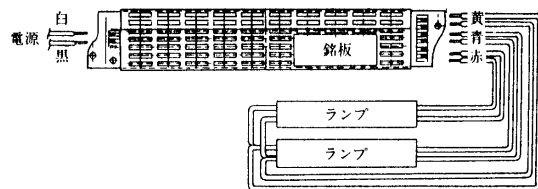


第2図

4. 結線は**第4図**のように、おこなってください。また、付属のリード線（φ1単線）は安定器の端子に先端が突きあたるまで差し込み、**確実に接続されたことを確認**してください。



1灯用の場合



2灯用の場合

注) 安定器からランプへの配線は3m以内としてください。

第4図

■特にご注意を

1. 本安定器は、**器具内専用**です。別置はできません。
2. 必ず**アース**を取り付けてください。アースは法により第3種接地工事が必要です。
3. **調光はできません。**
4. 防湿・防雨形器具など **湿度の高い場所に使用される照明器具には使用できません。**
5. 密閉器具、看板灯など **安定器周囲温度が高くなる照明器具には使用できません。**
6. 密接して配置された建築化照明など **照明器具の周囲温度が特に高い場所（35℃以上）では使用できません。**

修理サービス

ご使用中異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは安定器の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社

施設・HID事業部 〒140 東京都品川区南品川2-2-13（南品川JNビル） TEL(03)5463-8768

お客様はお読みになった後も必ず保存してください。

取扱管理 N 0.